

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 退職金引当金の計上基準について
 期末における退職金要支給額の100%を計上している。
- (2) 資金の範囲について
 資金の範囲には、普通預金・定期預金(1年以内)のほか預り金、未払税金等を含めている。

2. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
運営資産	33,729,828		33,729,828	
退職給付引当資産	14,065,300			14,065,300
減価償却引当資産	2,153,718		2,153,718	
合計	49,948,846	0	35,883,546	14,065,300
流動資産	6,661,374			
その他固定資産	1,238,333			
流動負債	△ 2,842,197			
固定負債	△ 14,065,300			
正味財産合計額	40,941,056			

3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	前期末残高
普通預金	6,514,902	4,890,863
仮払金	146,472	2,139,219
流動資産合計	6,661,374	7,030,082
預り金	772,197	610,474
未払金	2,000,000	2,000,000
未払税金	70,000	70,000
流動負債合計	2,842,197	2,680,474
次期繰越収支差額	3,819,177	4,349,608

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,306,562	1,055,816	248,369